

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2292300189		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホーム花ごころも		
所在地	静岡県富士市岩本232-2		
自己評価作成日	平成25年10月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	x.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&Ji_gyosyoCd=229
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人しずおか創造ネット		
所在地	静岡市葵区千代田三丁目11番43-6号		
訪問調査日	平成25年10月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームの理念は、「笑顔咲く 誰もがほほ笑む この場所」になります。この理念をもとに、お客様が笑顔で過ごせる場所を職員一同心掛けています。今年度は、地域の行事への参加を多く取り入り入れ、岩松地区に生きる花ごころもとして、行事等の計画を立てています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

富士市北部にあって古くから市民に親しまれている岩本山は梅や桜の名所として、また世界文化遺産に登録された富士山の絶景ポイントでもあります。その山麓の富士宮市への新道に沿った静まった場所に位置する「グループホーム花ごころも」は「小規模多機能ホーム花ごころも」と併設されていて4年目を迎えています。広い駐車場を持つ和風平屋建ての施設ではより地域に密着した施設を目指し管理者を中心に職員全員がお家族の思いも大切にご利用者様に寄り添い支援されている様子を拝見出来ます。昨年、4人様の看取りの経験から学んだ終末期のケアも万全で、職員の精神面のケアにまで及んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼で理念、行動指針を唱和しています。また意義を職員全体に周知徹底する為に理念、行動指針の暗記を行っています。	湖山医療グループとしての基本理念「自ら受けたいと思う医療と福祉の創造」を念頭に置いて施設で考えられた理念を職員が共有し、業務に励んでいる様子が管理者や職員との会話の中からも理解できました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一年に一度のお祭りでは地域の方等、地域交流を目的に行っています。また、地区の行事には職員、お客様と一緒に参加し交流しています。	施設の春祭りには地域住民の参加を呼び掛けたり、施設が所在する滝戸地区の夏祭りには利用者様も参加し、今年は模擬店を出すにまでになり、最近では地区自治会へも加入でき交流の輪は広まりつつあります。	地域住民に密着した施設の存在を継続的に維持する事を目的として「施設だより」など作成し、住民をはじめ地域福祉に関する諸インフラに発信する事は検討の余地があります。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議でご家族様に認知症の理解や支援についてお話しています。また運営推進会議では、民生委員の方や地域包括支援センターの方も参加して下さり、意見交流の場とさせて頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1度、運営推進会議を開催し、ご家族様の参加は勿論の事、職員も参加しています。そこで挙げた意見を日々の生活の場に活かしています。	会議は隔月定期的に行われ、議題も適切な内容で毎回運営されています。行政、地域包括をはじめ、自治会の区長も積極的に参加して下さるので、管理者は、より地域に密着した施設を目指す場と位置づけています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	月に1回、市の介護相談員の方が来訪して下さります。そこで頂いた貴重な意見はサービスに反映させて頂いています。	市の担当部所は通常業務のほか、事業者連絡会への介護サービスの情報提供や研修・啓発等も積極的に行なっています。介護相談員による施設訪問も受け入れ、相談員活動は円滑に行なわれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束0を掲げています。また身体拘束の勉強会、研修に参加し身体拘束をしない意義を職員一同理解しています。	法人が実施する初任者研修や現任者研修のプログラムにも組み入れられ、職員各位が身体拘束をしない意義を理解しています。施設では、その細かな部分、例えばスピーチロック等につき管理者と話し合われています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の研修でも虐待については学んでいます。また学んだ事を職員自ら企画した勉強会を通じて学ぶ場を設けています。また介護ストレスは何でも話すという事で軽減に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者様のご家族様の中に成年後見制度の制度を使われている方もいらっしゃいます。市の回覧物等からそういった制度を職員に知って頂いています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	可能であればご本人様にも参加して頂き、説明しています。サービス利用開始後も、介護職員、ケアマネージャーの方から細かな様子を報告させて頂いています。また解約後もご相談等承っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置し、ご家族様、来訪者の意見を反映させて頂いています。また定期的な電話連絡で近況報告もさせて頂いています。	お家族が来訪の機会や電話連絡時には利用者各位の近況報告を行ないつつ意見を聞くように努めていますが、特に担当職員の移動等、施設内の動向については、お家族に不安を与えないよう情報発信をしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の全体会議では、運営、経営を職員に伝えています。また定期的な面談を通じて職員の意見を聞く場を設けています。	会議を通じての意見聴取、意思伝達が組織的に行なわれ、運営会議では所長を中心に補佐出来る立場や事務部門の参加で内容は計数管理にまで及び、リーダー会議ではケアを中心に、全体会議ではその纏めと徹底がなされています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上半期、下半期に職員に目標を考えて頂き、職員が向上心を持って頂ける体制を作っています。その結果が各自の評価に繋がるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	湖山医療福祉グループは学ぶ場をたくさん設け、研修体制も充実しています。学んだ研修は、事業所に持ち帰り、現場の職員にも伝達し、必要に応じ勉強会を開催しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修を通じて、他事業所の交流を作っています。また他事業所の施設間評価等、自施設のサービス向上にも反映させて頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者に安心してサービスを受けて頂く為にも、入居前から入居前カンファレンス等で情報共有を図っています。また一緒に座る時間、同じ目線でお話する事を大切にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回の施設見学や利用申込時にどんな些細なことにも耳を傾け、安心してご利用して頂けるよう説明しています。また入居前のサービス担当者会議ではケアマネージャー以外に介護職、看護師等他職種のサポートも実施しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者が苦手としている、出来ない所は職員と一緒にお手伝いし、逆に得意としている所や長所は伸ばしご利用者の活躍できる場を作っています。訪問看護や往診のサービスもあります。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様、職員の相互関係を大事にしています。家事、レクリエーション等を通じて馴染みの関係作りや、生活の場を一緒に築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪時には、近況報告をさせて頂き、居室でご家族様同士の時間を提供しています。また行事には声を掛けさせて頂き関係作りにも努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来訪時にはご家族様、ご友人様の時間を大切にしています。また暑中見舞い、年賀状はお客様本人が書き、大事な人に送られています。	お家族が面会に来られた時、利用者様との時間を大切に過ごされるように、居室を利用なさるようお勧めしたり、買い物に出向く時には、ご本人の希望する場所などへと心掛けています。墓参りの支援をする事もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の生活の中で関係性を育まれる方もいる一方、ご利用者様の中には、孤立を求め方もいらっしゃいます。そういったご利用者様には職員が介入し、ご利用者同士様の架け橋となるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	私事情、入院、死去等で契約が終了されても、いつでも相談可能な事を伝えています。必要に応じ相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	基本的には、ご利用者様本人に自己選択して頂いています。必要に応じ、出来ない、苦手としている所をお手伝いし支援しています。	利用者様の生活は、家庭での生活の延長であり、職員は自己選択、自己実現への努力をアシストする立場で支援する事を心掛けています。車椅子での移動でも、リビングで過ごされる時でも、そのスタンスは変わらず支援しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様は勿論の事、来訪時にご家族様から生活歴、趣味、嗜好等、情報収集に努めています。また知りえた情報は決して外部には漏らさず、記録に残す事によって職員間での情報共有にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼、口頭、記録にて日々の様子を申し送りしています。また全体会議、カンファレンスにてご利用者様の話し合いの場を設けています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議には現場の職員の声を反映させる目的もあり、介護職員も同席しています。また介護職、看護職がケアマネジャーと連携を図りケアプランに反映させています。	介護経験豊かなケアマネジャーが計画作成者で家族の意向をも充分尊重したケアプランが立てられ、計画作成者が同席して月3回実施するカンファレンスの結果や職員意見も充分に集約され施設全体が機能しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝夕の申し送り、口頭で伝えられない際には申し送りノートを活用しています。また経過記録に日々の様子を細かく記録し、情報共有を図っています。記録や介護職員の意見からケアマネジャーが介護計画の見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出がしたいご利用者様には外出支援。またグループホームらしい家庭的な支援を大切にしていると共に、その都度ご利用者様から挙げられるニーズには柔軟に対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	児童クラブの慰問や地区の中学生の福祉体験等を通じて地域資源を図っています。また地域のお祭りに参加させて頂き、地域交流としています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の要望があれば受診も検討しますが、事故が起きた際にも、ご家族様確認し受診を検討します。看護師、ケアマネージャー、管理者が随時報告しかかりつけ医と事業所の連携を図っています。	地域の鈴木医院を連携医とし24時間連絡し得るような良い関係が築かれています。利用者各位の希望で主治医をも兼ねていただき月1回の往診も支援されています。専門外の受診支援も施設にて対応できる体制が出来ています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職、看護職といった多職種間の連携は勿論の事、申し送りノートや看護記録、経過記録での情報共有をしています。また介護職として、気になるところは看護師に申し送りし、訪問看護、往診等で伝えて頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医との連携を図っています。また、緊急時の対応等は、あらかじめ支持を頂いています。入院になった際も、適宜状態を把握し、看護師、ケアマネージャー、情報共有を図って帰設後の体制も整えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療面の処置に関しては限界がありますが、かかりつけ医との連携を図って、できる限りの医療処置を行っています。症状が重度化になる前に、来訪時ケアマネージャーから、近況報告の方をさせて頂いております。看取りの同意については、かかりつけ医の先生にも同席して頂いています。	重度化や終末期に向けて施設にて出来る事、出来ない事の説明をし、お家族と良く話し合い同意を得た上での支援が行なわれ、主治医の協力で看取りまで出来る体制になっています。職員は、かかる事態に備えての支援の方法や心のケアに至るまで話し合いがされています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応について職員間での勉強会を行っています。また、緊急時のマニュアル、連絡経路の作成にて、急変時、事故発生時の対応を整えています。また新人職員には先輩職員から指導を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内での防災訓練を月に一回行っています。また、半年に一回、民間の業者の方が見えられ、職員に指導をしてくださっています。夜間の対応については、まだ体制不十分です。	火災を想定しての諸訓練や点検は改善点はあるもののマニュアルに沿って定期的実施されています。自然災害時における備蓄や地域住民との関係は更に考える時期であると認識しています。	例えば、県が作成した指針、平成25年度版 高齢者福祉施設災害マニュアルには災害時の備蓄、地域との連携等についての解説も有ります。施設の規模に応じた必需品の整備や施設への援助要請、協力体制確立他、更なる検討を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の生活歴や性格を的確にとらえ、その人に合った言葉かけを行っています。人生の大先輩であることを忘れずに敬う気持ち、その方の立場に立った声掛けに配慮しています。また、接遇委員会を通じて職員の教育も行っています。	本件に関する基本的な姿勢は、法人が実施する初任者研修や現任者研修で徹底され業務に生かされていますが、施設としては、年齢や生活歴から自然に出来る利用者の中での先輩を敬う気持ちにも気を留めた支援をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の思いや希望を聞き出すために、一対一の関わりを大切にしています。企画や座ってお茶を飲む時間を作り、本人の思いを聞き、自己決定できるような働きかけをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自宅での生活の様子をご家族様に伺い、その生活パターンに沿った生活が出来るように意識しています。なじみの関係作りも大切に、一緒にいたい人と過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	花ごろもにいても、身だしなみ、おしゃれには気を使っています。今現在女性のご利用者様しかいらっしゃいませんが、お化粧をしたり髪を結っておられるご利用者様もいらっしゃいます。また、衣服もご自分で選んで頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士がご利用者様の好きなメニューを献立に取り入れています。また、食事はご利用者様、職員、一緒に召し上がり、雰囲気づくりや言葉掛けに努めています。	栄養士の免許を持つ二人の介護職員の一人が利用者様の好みを把握しながらメニュー作成や栄養管理を行っています。職員と共に取る食事は賑やかで笑顔が絶えません。食事前には、ご自分で出来る範囲で手伝う姿も拝見出来ます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がご利用者様の体調や栄養バランスを考えた献立作りを行っています。体調に応じて食事形態の変更も行っています。食事以外にも、適宜お茶やご利用者様の飲みたいものを飲んで頂き、水分量の確保をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。ご利用者様の状態に合わせて、ガーゼでの口腔内の清拭等も行っていきます。また、適宜、歯科往診があり、口腔内の清潔保持に努めています。夜間は義歯をお預かりし、洗浄しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	どんなに重度な方でもトイレでの排泄が出来るよう、支援しています。排泄の失敗を減らすため、その方に合ったトイレ誘導の声掛けをしています。また、トイレの訴えがあった際には速やかな対応を心がけています。	排泄に関しては、利用者各位に適切な声かけやトイレ誘導を心掛けています。現在は、夜間にポータブルトイレを利用される方は居られますが全員が自立されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便が促せるよう、毎日体操の時間を取り入れています。食事以外にも、水分摂取にも配慮しています。ご利用者様によっては牛乳やヤクルトを飲んで頂くなども行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	時間帯に囚われず、入浴時間帯の希望を伺っています。また、脱衣室では希望に合わせて音楽を流したりと、ゆっくりと楽しく入浴できるよう心がけています。	浴室でのレイアウトは、一人でゆっくりと入浴が出来るように配慮されています。入浴を拒否する利用者様も居られないので、職員が見守るなかで全員が週3回程の入浴を楽しんでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の要望に沿って入床時間を決めていきます。日中は出来るだけレクや体操に参加して頂いていますが、その方の体調や生活パターンに合わせて、日中の臥床も促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師、介護士との連携を図り、薬についての理解をしています。また、薬の変更があった際には、申し送りを確実にし周知徹底に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様一人一人に担当がついており、その方の希望を叶えられるように努めています。また、調理や洗濯の手伝いなど、その方の出来ることを行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様のニーズに沿った個別外出を行っています。また、今年は年2回、グループホーム全体での外出も行っております。必要に応じて、外出時の様子を伝えたりしています。	目的を持った個別の外出等は適宜に行なわれていますが、今年は沼津市の三津シーパラダイスとバラを鑑賞する為に富士市中央公園へと、各所とも2班に分かれて行かれたとの事でした。施設付近を日常的に散歩できる体制がとれればと話されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時には、本人様にお財布を持っていただき、支払等も本人様に行っていただけるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	今、現在電話を希望されるご利用者様はいらっしゃいませんが、要望があれば支援します。手紙に関しましては、年賀状や暑中見舞いを本人様に書いていただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔に心がけ、毎日の清掃に力を入れています。また、四季折々の設えとして、季節に合った花を飾っています。レクの行事カレンダーをご利用者様で作成し、カレンダーの絵柄には季節の物を取り入れています。	静かで落ち着いた木造建築の玄関を入り、チリひとつない廊下の奥には居室が並び、リビングからは中庭を鑑賞できます。各所には季節の生花も活けられ集団生活の場としては格別です。リビングの採光も良く利用者各位が穏やかに寛いで居られます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合うご利用者様と心地よくお話ができるよう座席の配置に配慮しております。また、リビングの居間には、ソファーが設置されており、お一人でものんびりと過ごして頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様に居心地良く過ごして頂けるよう、担当の職員が整理整頓等に努めています。また、入所時にはなじみの家具などを持ち込んで頂いております。中には、冷蔵庫を持ち込まれた方もいらっしゃいます。	各居室ともクローゼット兼用の押入れが設備され良く整頓されています。生活歴を匂わせるような思いある品や写真を持ち込み清潔で落ち着きある雰囲気です飾られています。お位牌を祭られている利用者様も居られます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は過度な手すり等は付けずに必要最低限にとどめています。また、入浴の浴槽では手すりは無いですが、浴槽の縁が手すり代わりとなる浴層の縁など、ハード面の工夫も行っていきます。		